

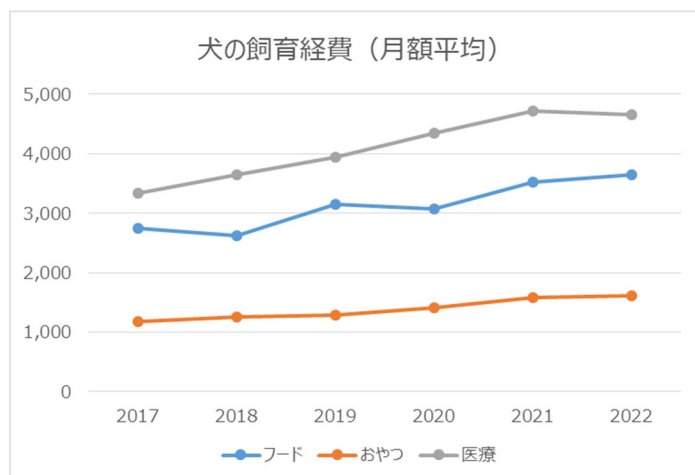
アフターコロナもペット経費は増加

日本最大級のペット産業見本市「インターペット」が3月30日から開催

ペットフードやグッズ、サービスを一堂に集めた日本最大級のペットイベント、第12回「インターペット ～人とペットの豊かな暮らしフェア～」は2023年3月30日(木)～4月2日(日)の4日間、東京ビッグサイトの東1・2・3・7・8ホールで開催します(※3月30日はビジネス関係者のみ)。開催に先立ち、主催者である一般社団法人ペットフード協会が、犬または猫を飼育している全国2,000名を対象に「全国犬猫飼育実態調査」を実施しました。

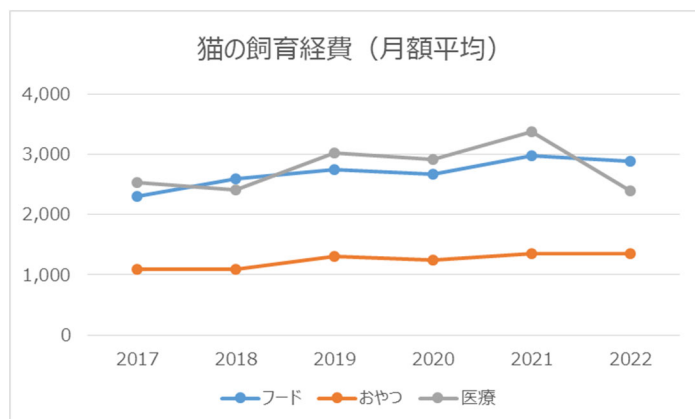
■犬のフードと医療費が増加

コロナ禍で需要が高まったペットの新規飼育頭数は横ばいになりましたが、飼育にかかる経費は犬、猫ともに年々増加傾向にあります。特に犬の主食用フードと医療費は、5年前の2017年と比べて月額で約1,000円増額しています。室内飼育が主流となった近年では、ペットはより家族として扱われるようになり、また、動物愛護管理法の改正により正しい飼育が義務付けられたことが背景の一つとして考えられます。



犬	フード (円)	おやつ (円)	医療 (円)
2017	2,750	1,184	3,335
2018	2,629	1,261	3,642
2019	3,148	1,292	3,951
2020	3,074	1,409	4,343
2021	3,531	1,577	4,713
2022	3,642	1,615	4,653

2022年 n=860



猫	フード (円)	おやつ (円)	医療 (円)
2017	2,293	1,095	2,528
2018	2,599	1,092	2,412
2019	2,745	1,303	3,016
2020	2,673	1,241	2,918
2021	2,978	1,346	3,367
2022	2,877	1,356	2,392

2022年 n=467

<調査概要>

- 調査方法 : インターネット調査
- 調査対象 : 全国の20歳～79歳の男女
- 調査期間 : 2022年10月7日～11日
- 回収数 : 2,000サンプル

近年では、人間の食品と同じ安全基準を満たした「ヒューマングレード」と呼ばれるフードや、高品質な原材料に添加物を最小限に抑えた「プレミアムフード」、穀物を使用しない「グレインフリー」、手作りごはん、オーガニック、アレルギーなどにも考慮した多種多様なペットフードがあります。ペットと過ごす時間が増えたことで、よりペットの健康を考えて体型や年齢に合わせたフードを意識するペットオーナーが増えていることがうかがえます。一方で、ペットの高齢化を支えるさまざまな医療器具や介護用品も登場しています。

■「インターペット」のピックアップ出展者



(株)マルカン「AIM30」

腎臓病に効果的なタンパク質 AIM の第一人者、宮崎徹先生の研究より誕生。健康アプローチアミノ酸「A-30」を配合した猫の健康維持をサポートする総合栄養食です。



(株)ニッスイ「PAWSOME DELI」

老舗食品メーカーが獣医師監修のもと開発した、ヒューマングレードの冷凍ペットフードです。小分けされているので、あげたい量をレンジに入れるだけで出来上がり。



(株)ディアラ「馬肉パーフェクト 角切り」

体作りに大切な栄養成分であるアミノ酸のバランスに優れ、カルシウムやビタミン、ミネラルも豊富な究極の馬肉と、新鮮な内臓類と髄を含んだ生骨のミンチです。



興和(株)「Living with Pets 犬用 健康維持サプリメント」

キャベジンやキューピーコーワを通じて人の健康に寄り添い続けた製薬会社が、その知識・ノウハウを生かして犬用のサプリメントを開発しました。

Hold Shoulder

ホールドショルダー

肩関節サポーター



(株)松本義肢製作所「ホールドショルダー」

肩の動きを制限するサポーターで、肩の不安定なワンちゃんや脱臼の予防を目的とした肩関節サポーターです。歩行を妨げないので、日中の装着が可能です。



(株)ピカコーポレイション「犬用補助車ドギーサポーター」

はしご屋が本気で作った犬用補助車です。オーダーメイドではなく既製品なのですぐに使え、「高さ」「幅」「長さ」の調整で愛犬にピッタリと合わせることができます。

■「インターペット」とは

一般社団法人ペットフード協会(会長: 児玉博充)、一般社団法人日本ペット用品工業会(会長: 赤津功一)、メッセフランクフルト ジャパン株式会社(代表取締役社長: 梶原靖志)主催の「人とペットの豊かな暮らしを提案する」日本最大級のペット産業見本市 兼 ペットイベントです。2011 年から毎年規模を拡大して開催を続け、昨年 2022 年の開催では 465 社(国内 445 社、海外 20 社)が出展、4 日間で 44,074 名と 18,513 頭のペットが来場しました。2023 年は過去最大面積にて 600 社以上の出展を予定しています。

・ビジネス来場のご案内:

<https://interpets.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/planning-preparation/visitors/for-trade-visitors.html>

・一般来場のご案内:

<https://interpets.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/planning-preparation/visitors/for-public-visitors.html>

「インターペット」に関する最新情報は、以下にてご確認ください。

公式サイト: www.interpets.jp

特設サイト: <https://interpets.jp/public/>

公式インスタグラム: www.instagram.com/interpetsofficial

公式ライン: <https://page.line.me/?accountId=238rihtb>

来場に関するお問合せ先

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

インターペット事務局

Tel 03-6625-3969 (平日 10:00—17:00、土日祝休)

ビジネス来場者: business@interpets.jp

一般来場者: public@interpets.jp

報道関係者からのお問合せ先

プレス担当: 加来／小田島

Tel 03-3262-8453

press@japan.messefrankfurt.com

www.jp.messefrankfurt.com

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、800年以上にわたり見本市会場として親しまれるドイツ・フランクフルト市に本社を構える世界最大級の国際見本市主催会社です。約40万平方メートルの見本市会場を所有し、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。グループ全体では世界中に28の拠点と約2,200人の従業員を有しており、世界各地域の約180カ国をカバーするグローバルネットワークは、メッセフランクフルトの強みの1つです。2022年のグループの売上高は4億5,000万ユーロで、顧客のビジネス拡大に貢献しました。また、「サステナブル経営」を企業戦略の中核に置き、環境保全、経済活動、多様性と社会的責任などの観点において持続可能な状態を実現する経営を実践しています。見本市主催事業以外にも会場の貸出、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングなど、オフラインとオンラインを合わせた包括的かつ幅広いサービスを提供し、顧客のニーズに合わせてビジネスをサポートしています。詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com

*2022年暫定数値